

○熊本市都市公園条例〔熊本城総合事務所総務管理課・観光政策課・スポーツ振興課・みどり政策課〕

昭和52年6月16日

条例第32号

改正 昭和53年3月31日条例第13号

昭和54年3月19日条例第22号

昭和54年9月18日条例第45号

昭和59年3月30日条例第22号

昭和62年9月18日条例第36号

昭和63年9月16日条例第33号

昭和63年12月19日条例第40号

平成元年3月28日条例第17号

平成2年3月29日条例第21号

平成2年6月27日条例第40号

平成2年12月27日条例第80号

平成3年3月14日条例第23号

平成4年3月31日条例第22号

平成5年3月26日条例第15号

平成5年9月24日条例第36号

平成6年9月30日条例第34号

平成7年3月16日条例第31号

平成7年9月29日条例第61号

平成8年12月20日条例第36号

平成9年3月28日条例第24号

平成10年3月26日条例第20号

平成10年9月29日条例第50号

平成11年12月24日条例第39号

平成12年3月30日条例第2号

平成12年3月30日条例第16号

平成12年12月25日条例第56号

平成14年9月24日条例第44号

平成14年 9 月25日 条例第45号
平成15年 3 月17日 条例第31号
平成16年 3 月31日 条例第35号
平成17年 3 月24日 条例第11号
平成17年 9 月30日 条例第45号
平成19年 3 月13日 条例第42号
平成19年10月31日 条例第76号
平成20年 9 月19日 条例第80号
平成21年 3 月26日 条例第20号
平成22年 3 月 8 日 条例第40号
平成22年10月 6 日 条例第121号
平成23年 9 月29日 条例第46号
平成24年 3 月22日 条例第56号
平成24年12月26日 条例第113号
平成25年10月 4 日 条例第54号
平成25年12月25日 条例第78号
平成26年10月 7 日 条例第68号
平成26年12月26日 条例第87号
平成27年 3 月 6 日 条例第33号
平成28年 3 月24日 条例第27号
平成29年12月12日 条例第72号
平成30年 3 月26日 条例第38号
平成30年 6 月19日 条例第72号
令和元年10月 2 日 条例第29号
令和 2 年12月18日 条例第63号
令和 3 年 6 月25日 条例第69号
令和 4 年 9 月30日 条例第49号
令和 4 年12月20日 条例第62号

熊本市都市公園条例（昭和33年条例第42号）の全部を次のように改正する。

（目的）

第1条 この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）の規定に

基づき、本市が設置する都市公園（第1条の3を除き、以下「都市公園」という。）の設置及び管理につき必要な事項を定めることを目的とする。

（平24条例113・一部改正）

（都市公園の設置基準）

第1条の2 法第3条第1項の条例で定める基準は、次条及び第1条の4に定めるところによる。

（平24条例113・追加）

（住民1人当たりの都市公園の敷地面積の標準）

第1条の3 本市の区域内の国及び地方公共団体が設置する都市公園の住民1人当たりの敷地面積の標準は10平方メートル以上とし、本市の市街地の国及び地方公共団体が設置する都市公園の当該市街地の住民1人当たりの敷地面積の標準は5平方メートル以上とする。

（平24条例113・追加）

（都市公園の配置及び規模の基準）

第1条の4 次に掲げる都市公園を設置する場合においては、それぞれその特質に応じて本市における都市公園の分布の均衡を図り、かつ、防火、避難等災害の防止に資するよう考慮するほか、次に掲げるところによりその配置及び規模を定めるものとする。

(1) 主として街区内に居住する者の利用に供することを目的とする都市公園は、街区内に居住する者が容易に利用することができるように配置し、その敷地面積は、0.25ヘクタールを標準として定めること。

(2) 主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする都市公園は、近隣に居住する者が容易に利用することができるように配置し、その敷地面積は、2ヘクタールを標準として定めること。

(3) 主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする都市公園は、徒歩圏内に居住する者が容易に利用することができるように配置し、その敷地面積は、4ヘクタールを標準として定めること。

(4) 主として本市の区域内に居住する者の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする都市公園、主として運動の用に供することを目的とする都市公園及び本市の区域を超える広域の利用に供することを目的とする都市公園で、休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供されるものは、容易に利用することができるように配置し、それぞれその利用目的に応じて都市公園としての機能を十分発揮する

ことができるようにその敷地面積を定めること。

- 2 主として公害又は災害を防止することを目的とする緩衝地帯としての都市公園、主として風致の享受の用に供することを目的とする都市公園、主として動植物の生息地又は生育地である樹林地等の保護を目的とする都市公園、主として市街地の中心部における休息又は観賞の用に供することを目的とする都市公園等前項各号に掲げる都市公園以外の都市公園を設置する場合においては、それぞれその設置目的に応じて都市公園としての機能を十分発揮することができるように配置し、及びその敷地面積を定めるものとする。

(平24条例113・追加)

(公園施設の建築面積の基準)

第1条の5 法第4条第1項の条例で定める割合は、100分の2とする。

(平24条例113・追加)

(公園施設の建築面積の基準の特例)

- 第1条の6 都市公園法施行令(昭和31年政令第290号。以下「政令」という。)第6条第1項第1号に掲げる場合に関する法第4条第1項ただし書の条例で定める範囲は、同号に規定する建築物に限り、当該都市公園の敷地面積の100分の10を限度として前条の規定により認められる建築面積を超えることができることとする。
- 2 政令第6条第1項第2号に掲げる場合に関する法第4条第1項ただし書の条例で定める範囲は、同号に規定する建築物に限り、当該都市公園の敷地面積の100分の20を限度として前条の規定により認められる建築面積を超えることができることとする。
 - 3 政令第6条第6項に規定する建築物を設ける場合に関する法第5条の9第1項の規定により読み替えて適用する法第4条第1項ただし書の条例で定める範囲は、政令第6条第6項に規定する建築物に限り、当該都市公園の敷地面積の100分の10を限度として前条の規定により認められる建築面積を超えることができることとする。
 - 4 政令第6条第1項第3号に掲げる場合に関する法第4条第1項ただし書の条例で定める範囲は、同号に規定する建築物に限り、当該都市公園の敷地面積の100分の10を限度として前条又は前3項の規定により認められる建築面積を超えることができることとする。
 - 5 政令第6条第1項第4号に掲げる場合に関する法第4条第1項ただし書の条例で定める範囲は、同号に規定する建築物に限り、当該都市公園の敷地面積の100分の2を限度として前条又は前各項の規定により認められる建築面積を超えることができることとする。

(平24条例113・追加、平30条例38・一部改正)

(運動施設の敷地面積の基準)

第1条の7 政令第8条第1項の条例で定める割合は、100分の50とする。

(平30条例38・追加)

(行為の制限)

第2条 都市公園において、次の各号に掲げる行為をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

- (1) 行商、募金その他これらに類する行為をすること。
- (2) 業として写真又は映画の撮影その他これらに類する行為をすること。
- (3) 興行を行うこと。
- (4) 競技会、展示会、博覧会その他これらに類する催しのために都市公園の全部又は一部を独占して利用すること。
- (5) バーベキュー等を行うため火気を使用すること。

2 前項の許可を受けようとする者は、行為の目的、行為の期間、行為を行う場所又は公園施設、行為の内容その他市長の指示する事項を記載した申請書を市長に提出しなければならない。

3 第1項の許可を受けた者は、許可を受けた事項を変更しようとするときは、当該事項を記載した申請書を市長に提出してその許可を受けなければならない。

4 市長は、第1項各号に掲げる行為が公衆の都市公園の利用に支障を及ぼさないと認める場合及び集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益にならないと認める場合に限り、第1項又は前項の許可を与えることができる。

5 市長は、第1項又は第3項の許可に都市公園の管理上必要な範囲内で条件を付することができる。

(平15条例31・平19条例42・平28条例27・一部改正)

(許可の特例)

第3条 法第6条第1項又は第3項の許可を受けた者は、当該許可に係る事項については、前条第1項又は第3項の許可を受けることを要しない。

(行為の禁止)

第4条 都市公園においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、法第5条第1項、法第6条第1項若しくは第3項若しくは第2条第1項若しくは第3項の許可に係るもの又は公益上若しくは都市公園の管理上必要があると市長が認める行為については、この限りではない。

- (1) 都市公園を損傷し、又は汚損すること。

- (2) 竹木を伐採し、又は植物を採取すること。
- (3) 土地の形質を変更すること。
- (4) 鳥獣魚類を捕獲し、又は殺傷すること（規則で定める場合を除く。）。
- (5) 貼紙若しくは貼札をし、又は広告を表示すること。
- (6) 立入禁止区域に立ち入ること。
- (7) 指定された場所以外の場所へ車両を乗り入れ（自転車にあつては、降車し、移動させる場合を除く。）、又は留め置くこと。
- (8) 他人に危害を及ぼすおそれのある行為又は他人の迷惑となる行為をすること。
- (9) 都市公園をその用途以外に使用すること。
- (10) 前各号に掲げる行為のほか、都市公園の管理上支障があると市長が認める行為をすること。

（平14条例45・平17条例11・平26条例68・平28条例27・一部改正）

（利用の禁止又は制限）

第5条 市長は、都市公園の損壊その他の理由により、その利用が危険であると認められる場合又は都市公園に関する工事のためやむを得ないと認められる場合においては、都市公園を保全し、又はその利用者の危険を防止するため、区域を定めて、都市公園の利用を禁止し、又は制限することができる。

（有料公園及び有料公園施設）

第6条 有料公園（有料で利用させる都市公園又は都市公園の一区域をいう。以下同じ。）及び有料公園施設（市の管理する公園施設で有料で利用させるものをいう。以下同じ。）は、別表第4及び別表第5の左欄に掲げるとおりとする。

2 有料公園又は有料公園施設を利用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

3 市長は、有料公園及び有料公園施設の供用日及び供用時間を定めることができる。

（昭53条例13・平17条例45・一部改正）

（公園施設の設置若しくは管理又は占用の許可の申請書の記載事項）

第7条 法第5条第1項の条例で定める事項は、次の各号に掲げるものとする。

(1) 公園施設を設けようとするときは、次に掲げる事項

- ア 公園施設名
- イ 設置の目的
- ウ 設置の期間

- エ 設置の場所
- オ 公園施設の構造
- カ 公園施設の管理の方法
- キ 工事実施の方法
- ク 工事の着手及び完了の時期
- ケ 都市公園の復旧方法
- コ その他市長の指示する事項

(2) 公園施設を管理しようとするときは、次に掲げる事項

- ア 管理の目的
- イ 管理の期間
- ウ 管理する公園施設
- エ 管理の方法
- オ その他市長の指示する事項

(3) 許可を受けた事項を変更しようとするときは、当該事項

2 法第6条第2項の条例で定める事項は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 占用物件の管理の方法
- (2) 工事実施の方法
- (3) 工事の着手及び完了の時期
- (4) 都市公園の復旧方法
- (5) その他市長の指示する事項

(平17条例11・一部改正)

(法第6条第3項ただし書の条例で定める軽易な変更)

第8条 法第6条第3項ただし書の条例で定める軽易な変更は、次に掲げるものとする。

- (1) 占用物件の模様替えて、当該占用物件の外観又は構造の著しい変更を伴わないもの
- (2) 占用物件に対する物件の添加で、当該占用者が当該占用の目的に付随して行うもの
(設計書等)

第9条 公園施設の設置若しくは都市公園の占用の許可を受けようとする者又はそれらの許可を受けた事項の一部を変更しようとする者は、当該許可の申請書に設計書、仕様書及び図面を添付しなければならない。

(使用料)

第10条 法第5条第1項の許可を受けた者は、別表第1に掲げる使用料を納付しなければ

ならない。

2 法第6条第1項又は第3項の許可を受けた者は、別表第2に掲げる使用料を納付しなければならない。

3 第2条第1項又は第3項の許可を受けた者は、別表第3に掲げる使用料を納付しなければならない。

4 有料公園又は有料公園施設（以下「有料公園等」という。）を利用しようとする者は、別表第4又は別表第5の右欄に掲げる使用料を納付しなければならない。

（昭53条例13・平17条例11・一部改正）

（駐車場の特例）

第11条 別表第5に掲げるもののほか、熊本城公園に有料公園施設として熊本市営熊本城二の丸駐車場、熊本市営熊本城三の丸第一駐車場、熊本市営熊本城宮内駐車場、熊本市営熊本城桜の馬場バス駐車場及び桜の馬場観光交流施設駐車場を設置し、その管理及び使用料については、この条例に定めるもののほか、次表に掲げる条例の定めるところによる。

熊本市営熊本城二の丸駐車場	熊本市営駐車場条例（昭和46年条例第57号）
熊本市営熊本城三の丸第一駐車場	
熊本市営熊本城宮内駐車場	
熊本市営熊本城桜の馬場バス駐車場	
桜の馬場観光交流施設駐車場	

（昭53条例13・平9条例24・平21条例20・平22条例121・令元条例29・一部改正）

（監督処分）

第12条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、この条例の規定によってした許可を取り消し、その効力を停止し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくは都市公園からの退去を命ずることができる。この場合において、許可の取消し等により許可を受けた者が損害を受けても、市はその責めを負わない。

- (1) この条例又はこの条例の規定に基づく処分に違反している者
- (2) この条例の規定による許可に付した条件に違反している者
- (3) 偽りその他不正な手段によりこの条例の規定による許可を受けた者
- (4) 集团的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合においては、この条例の規定による許可を受けた者に対し、前項に規定する処分をし、又は同項に規定する必要な措置を命ずること

ができる。

- (1) 都市公園に関する工事のためやむを得ない必要が生じた場合
- (2) 都市公園の保全又は公衆の都市公園の利用に著しい支障が生じた場合
- (3) 都市公園の管理上の理由以外の理由に基づく公益上やむを得ない必要が生じた場合
(平14条例44・平15条例31・平17条例11・一部改正)

(工作物等を保管した場合の公示事項)

第13条 法第27条第5項の条例で定める事項は、次に掲げるものとする。

- (1) 保管した工作物その他の物件又は施設（以下「工作物等」という。）の名称又は種類、形状及び数量
- (2) 保管した工作物等の放置されていた場所及び当該工作物等を除却した日時
- (3) その工作物等の保管を始めた日時及び保管の場所
- (4) 前3号に掲げるもののほか、保管した工作物等を返還するため必要と認められる事項

(平17条例11・追加)

(工作物等を保管した場合の公示の方法)

第14条 法第27条第5項の規定による公示は、熊本市公告式条例（昭和25年条例第1号）の定めるところにより行うものとする。

2 市長は、前項に規定する方法による公示を行うとともに、保管した工作物等の一覧を規則で定めるところにより関係者に閲覧させるものとする。

(平17条例11・追加)

(工作物等の価額の評価の方法)

第15条 法第27条第6項の規定による工作物等の価額の評価は、取引の実例価格、当該工作物等の使用年数、損耗の程度その他当該工作物等の価額の評価に関する事情を勘案してするものとする。この場合において、市長は、必要があると認めるときは、工作物等の価額の評価に関し専門的知識を有する者の意見を聴くことができる。

(平17条例11・追加)

(保管した工作物等を売却する場合の手続)

第16条 法第27条第6項の規定による保管した工作物等の売却は、競争入札に付して行うものとする。ただし、規則で定める場合は、随意契約により売却することができる。

(平17条例11・追加)

(工作物等を返還する場合の手続)

第17条 市長は、保管した工作物等（法第27条第6項の規定により売却した代金を含む。）を当該工作物等の所有者、占有者その他当該工作物等について権原を有する者（以下この条において「所有者等」という。）に返還するときは、返還を受ける者にその氏名及び住所を証するに足りる書類を提示させる等の方法によってその者がその工作物等の返還を受けるべき工作物等の所有者等であることを証明させ、かつ、規則で定める様式による受領書と引換えに返還するものとする。

（平17条例11・追加）

（届出）

第18条 次の各号のいずれかに該当する場合には、当該行為をした者は、速やかにその旨を市長に届け出なければならない。

- （1） 法第5条第1項又は法第6条第1項若しくは第3項の許可を受けた者が、公園施設の設置又は都市公園の占用に関する工事を完了したとき。
- （2） 前号に掲げる者が、公園施設の設置若しくは管理又は都市公園の占用の廃止したとき。
- （3） 第1号に掲げる者が、法第10条第1項の規定により都市公園を原状に回復したとき。
- （4） 法第26条第2項又は第4項の規定によりこれらの項に規定する必要な措置を命ぜられた者が、命ぜられた工事を完了したとき。
- （5） 法第27条第1項又は第2項の規定により同条第1項に規定する必要な措置を命ぜられた者が、命ぜられた工事を完了したとき。
- （6） 都市公園を構成する土地物件について所有権を移転し、又は抵当権を設定し、若しくは移転したとき。
- （7） 第12条第1項又は第2項の規定により同条第1項に規定する必要な措置を命ぜられた者が、命ぜられた工事を完了したとき。

（平17条例11・旧第13条繰下・一部改正）

（使用料の徴収）

第19条 使用料は、公園施設の設置若しくは管理、都市公園の占用、第2条第1項各号に掲げる行為又は有料公園等の利用（以下「都市公園の使用」という。）の許可をした日の属する月の翌月の末日までに（同項第5号に掲げる行為については許可の際に、有料公園等の利用については当該利用の申請の際に）徴収する。ただし、有料公園等の利用の場合において、次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りでない。

- （1） 利用者が官公署、学校、アマチュアスポーツ団体その他市長が特に認めるものであ

る場合

- (2) 電子情報処理組織等を利用して行う方法で規則で定めるものにより有料公園等を利用する場合

2 前項の規定にかかわらず、都市公園の使用の期間が3月を超える場合であつて、利用者からの申出があるときは、次の各号に掲げる期間の区分により、初期の分は使用の許可の際、次期以降の分は当該各期の始に徴収することができる。

- (1) 第1期 4月から6月まで
- (2) 第2期 7月から9月まで
- (3) 第3期 10月から12月まで
- (4) 第4期 1月から3月まで

(昭53条例13・平14条例44・一部改正、平17条例11・旧第14条繰下、平17条例45・平22条例40・平24条例56・一部改正)

(使用料の不還付)

第20条 既納の使用料は還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を還付することができる。

- (1) 都市公園を使用する者が不可抗力により使用ができなかったとき。
- (2) 市の都合により都市公園の使用の許可を取り消したとき。
- (3) その他特に市長が相当な理由があると認めたとき。

(平14条例44・一部改正、平17条例11・旧第15条繰下・一部改正)

(使用料の減免)

第21条 市長は、公益上その他特別の理由があると認めたときは、使用料を減免することができる。

2 市長は、特別の理由があると認める者に対しては、有料公園等の記名無料優待券を発行することができる。

(平17条例11・旧第16条繰下)

(都市公園の区域の変更及び廃止)

第22条 市長は、都市公園の区域を変更し、又は都市公園を廃止するときは、当該都市公園の名称、位置、変更又は廃止に係る区域その他必要と認める事項を明らかにしてその旨を公告しなければならない。

(平17条例11・旧第17条繰下)

(公園予定区域及び予定公園施設についての準用)

第23条 第2条から第21条までの規定は、法第33条第4項に規定する公園予定区域又は予定公園施設について準用する。

(平17条例11・旧第18条繰下・一部改正)

(指定管理者による管理)

第24条 水前寺野球場、水前寺競技場、田迎公園運動施設、桜の馬場観光交流施設、水前寺江津湖公園、白川公園、植木中央公園運動施設、辛島公園及び花畑公園（以下「指定対象施設」という。）の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて本市が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

(平17条例45・全改、平22条例121・平23条例46・平30条例38・平30条例72・令3条例69・一部改正)

(指定管理者の指定の手續)

第25条 前条の規定による指定を受けようとするものは、指定対象施設の事業計画書その他規則で定める書類を添えて、当該指定について市長に申請しなければならない。

2 市長は、前項の規定による申請があつたときは、申請があつたもののうちから、次に掲げる基準に最も適合していると認めるものを選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 指定対象施設の運営が、住民の平等利用を確保することができること。
- (2) その事業計画書の内容が、指定対象施設の効用を最大限に発揮させるとともにその管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) その事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有していること。
- (4) その他市長が定める基準

(平17条例45・追加)

(指定管理者が行う管理の基準)

第26条 指定管理者は、この条例に定めるもののほか、法令、この条例に基づく規則その他市長が定めるところに従い、指定対象施設の管理を行わなければならない。

(平17条例45・追加)

(指定管理者が行う業務)

第27条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 指定対象施設に係る第6条第2項に規定する許可及びその取消し並びに停止の命令に関する業務(電子情報処理組織等を利用して行う方法で規則で定めるものによるもの

を除く。)

(2) 指定対象施設の維持管理に関する業務

(3) 次に掲げる指定対象施設の区分に応じ、それぞれ次に定めるその効用を十分に発揮させるための業務

ア 水前寺野球場、水前寺競技場、田迎公園運動施設及び植木中央公園運動施設 スポーツの振興及び普及に関する業務

イ 桜の馬場観光交流施設 文化及び観光の振興並びに市民及び観光客の交流の促進に関する業務

ウ 辛島公園及び花畑公園 中心市街地の新たなにぎわいの創出に関する業務

(4) 前3号に掲げるもののほか、指定対象施設の管理運営上市長が必要と認める業務

(平17条例45・追加、平22条例121・平30条例72・令3条例69・一部改正)

(利用料金)

第27条の2 第25条第2項の規定により指定された指定管理者は、桜の馬場観光交流施設(歴史文化体験施設に限る。)、辛島公園芝生広場、辛島公園多目的広場又は花畑公園北側階段の使用に係る料金(以下「利用料金」という。)を自己の収入として収受することができる。この場合において、第10条第4項の規定は、適用しない。

2 利用料金は、別表第5に定める額を超えない額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。

3 第10条第4項に規定する使用料を納付した者は、当該使用料に係る施設の使用について、利用料金を納付する義務を負わないものとする。

4 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

5 指定管理者は、規則で定める場合は、利用料金を減免することができる。

6 使用者は、既納の利用料金の還付を受けることができない。ただし、規則で定める場合は、この限りでない。

(平22条例121・追加、令3条例69・一部改正)

(協定の締結)

第28条 指定管理者は、指定を受けるときは市と指定対象施設の管理に関する協定を締結しなければならない。

2 前項の協定に定める事項は、規則で定める。

(平17条例45・追加)

(指定の取消し等に係る損害賠償)

第29条 市長が指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じても、市はその賠償の責めを負わない。

(平17条例45・追加)

(秘密保持義務等)

第30条 指定管理者及び指定管理者の行う事務に従事している者又は従事していた者は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）第66条第2項において準用する同条第1項及び同法第67条に規定するところにより個人情報を適切に管理するほか、指定対象施設の管理に関し知り得た秘密を漏らしてはならない。

(平17条例45・追加、令4条例62・一部改正)

(委任)

第31条 この条例の施行につき必要な事項は、市長が定める。

(昭和63条例40・旧第19条繰下、平17条例11・旧第20条繰下、平17条例45・旧第25条繰下)

(罰則)

第32条 次の各号のいずれかに該当する者に対しては、5万円以下の過料を科する。

(1) 第2条第1項又は第3項（第23条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）

の規定に違反して同条第1項各号に掲げる行為をした者

(2) 第4条（第23条において準用する場合を含む。）の規定に違反して同条各号に掲げる行為をした者

(3) 第12条第1項又は第2項（第23条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）

の規定による市長の命令に違反した者

(昭63条例40・旧第20条繰下、平14条例45・一部改正、平17条例11・旧第21条繰下・一部改正、平17条例45・旧第26条繰下)

第33条 市長は、詐欺その他の不正行為により使用料の徴収を免れた者に対し、当該徴収を免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料を科する。

(平12条例2・全改、平17条例11・旧第22条繰下、平17条例45・旧第27条繰下)

第34条 法人（人格のない社団を含む。以下同じ。）の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関し、前2条の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対しても各本条の過料を科する。

(昭63条例40・旧第22条繰下、平14条例45・一部改正、平17条例11・旧第23条繰下、平17条例45・旧第28条繰下)

第35条 法第5条の11の規定により市長に代わってその権限を行う者は、第32条から前条までの規定の適用については、市長とみなす。

(昭63条例40・旧第23条繰下、平14条例44・一部改正、平17条例11・旧第24条繰下、平17条例45・旧第29条繰下・一部改正、平30条例38・一部改正)

附 則

- 1 この条例は、昭和52年7月1日から施行する。
- 2 この条例の施行前にこの条例による改正前の熊本市都市公園条例の規定によりなされた許可その他の処分又は申請、届出その他の手続きは、それぞれこの条例の相当規定に基づいてなされた処分又は手続きとみなす。
- 3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。
- 4 平成19年11月1日から平成20年3月31日までの間において、別表第4熊本城公園（行幸坂以东の区域）の項中「500円」とあるのは「300円」と、「200円」とあるのは「100円」と、「400円」とあるのは「300円」と、「160円」とあるのは「100円」とする。
(平19条例76・追加)
- 5 平成21年2月1日から同年3月31日までの間において、別表第5田迎公園運動施設の項使用料の欄中「武蔵塚武道場、北部武道館」とあるのは、「武蔵塚武道場」とする。
(平20条例80・追加)
- 6 第25条の規定にかかわらず、桜の馬場観光交流施設の最初の指定管理者を指定する場合においては、市長は、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）に基づき当該施設について選定し、契約した民間事業者を議会の議決を経て、当該施設の指定管理者に指定するものとする。

(平22条例121・追加)

附 則（昭和53年3月31日条例第13号）

この条例は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則（昭和54年3月19日条例第22号）

この条例は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（昭和54年9月18日条例第45号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和59年3月30日条例第22号）

- 1 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、別表第5熊本動物園の項の改正規定は、公布の日から、別表第2の改正規定中変圧塔、鉄塔その他これらに類するものに係る部分は、昭和60年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行（別表第2の改正規定中変圧塔、鉄塔その他これらに類するものに係る部分の施行を含む。）の際、現に許可を受けているものの当該使用期間に係る使用料については、この条例による改正後の熊本市都市公園条例（以下「改正後の条例」という。）別表第1から別表第3までの規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 改正後の条例別表第1の規定による使用料の額は、同表の規定にかかわらず、昭和59年度に許可を受けたものについては、当該使用期間満了までの間は、同表中「3,600円」とあるのは「2,000円」と、「9,000円」とあるのは「5,000円」とし、昭和60年度に許可を受けたものについては、当該使用期間満了までの間は、同表中「3,600円」とあるのは「2,800円」と、「9,000円」とあるのは「7,000円」とする。
- 4 改正後の条例別表第2の規定による使用料の額は、同表の規定にかかわらず、昭和59年度に許可を受けた占用物件については、当該使用期間満了までの間は、この条例による改正前の熊本市都市公園条例の規定による使用料（以下「旧使用料」という。）の額と、改正後の条例の規定による使用料（以下「新使用料」という。）の額から旧使用料の額を控除した額に0.3を乗じて得た額との合計額とし、昭和60年度に許可を受けた占用物件（附則第6項に規定するものを除く。）については、当該使用期間満了までの間は、旧使用料の額と、新使用料の額から旧使用料の額を控除した額に0.6を乗じて得た額との合計額とする。
- 5 前項の規定によるそれぞれの使用料の額に、5円未満の端数があるときは、これを切り捨て、5円以上10円未満の端数があるときは、これを10円に切り上げる。
- 6 改正後の条例別表第2に規定する占用物件のうち、変圧塔、鉄塔その他これらに類するものに係る使用料の額は、同表の規定にかかわらず、昭和60年度に許可を受けたものについては、当該使用期間満了までの間は、同表中「800円」とあるのは「650円」とする。
- 7 改正後の条例別表第3の規定による使用料の額は、同表の規定にかかわらず、昭和59年度に許可を受けた行為については、当該使用期間満了までの間は、同表中「9,000円」とあるのは「5,000円」とし、昭和60年度に許可を受けた行為については、当該使用期間満了までの間は、同表中「9,000円」とあるのは「7,000円」とする。

附 則（昭和62年9月18日条例第36号）

- 1 この条例は、昭和62年10月1日から施行する。

- 2 この条例の施行の際、現に許可を受けている占有物件に係る使用料については、この条例による改正後の熊本市都市公園条例（以下「改正後の条例」という。）別表第2の規定にかかわらず、昭和63年3月31日までは、なお従前の例による。
- 3 改正後の条例別表第2の規定の適用については、同表の規定にかかわらず、次の各号に掲げる区分に従い、それぞれ当該各号に掲げる額とする。
- (1) 昭和62年10月1日から昭和63年3月31日まで この条例による改正前の別表第2の規定による使用料（以下「旧使用料」という。）の額と、改正後の条例別表第2の規定による使用料（以下「新使用料」という。）の額から旧使用料の額を控除した額に0.3を乗じて得た額との合計額
- (2) 昭和63年4月1日から昭和64年3月31日まで 旧使用料の額と、新使用料の額から旧使用料の額を控除した額に0.6を乗じて得た額との合計額
- 4 前項各号の規定によるそれぞれの使用料の額に、1円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。

附 則（昭和63年9月16日条例第33号）

この条例は、昭和63年10月1日から施行する。

附 則（昭和63年12月19日条例第40号）

この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、それぞれ当該各号に掲げる日から施行する。

（平成元年3月18日規則第9号で平成元年3月19日から施行）

(1) 別表第4の改正規定及び別表第5の改正規定中熊本城天守閣の項に係る部分 昭和64年4月1日

(2) 別表第5の改正規定中バレーボールコート及びテニスコートの部熊本城公園の項に係る部分 昭和63年12月29日

附 則（平成元年3月28日条例第17号）

この条例は、平成元年4月1日から施行する。

附 則（平成2年3月29日条例第21号）

この条例は、規則で定める日から施行する。

（平成2年4月26日規則第33号で平成2年5月1日から施行）

附 則（平成2年6月27日条例第40号）

この条例は、平成2年7月21日から施行する。

附 則（平成2年12月27日条例第80号）

- 1 この条例は、平成3年2月1日から施行する。
- 2 飽託郡北部町、飽田町及び天明町の編入の日前に旧北部町都市公園条例（昭和60年条例第26号。以下「旧北部町条例」という。）、旧飽田町都市公園条例（昭和59年条例第14号。以下「旧飽田町条例」という。）又は旧天明町都市公園条例（昭和55年条例第13号。以下「旧天明町条例」という。）の規定に基づきなされた手続、処分その他の行為は、この条例による改正後の熊本市都市公園条例（以下「新条例」という。）の規定に基づきなされたものとみなす。
- 3 飽託郡北部町及び飽田町の編入の日前の旧北部町条例又は旧飽田町条例の規定により許可を受けた者の当該許可に係る使用料については、新条例の規定にかかわらず、旧北部町条例又は旧飽田町条例の例による。
- 4 飽託郡北部町、飽田町及び天明町の編入の日前に旧北部町条例、旧飽田町条例又は旧天明町条例の規定に違反する行為に対する罰則の適用については、旧北部町条例、旧飽田町条例又は旧天明町条例の例による。

附 則（平成3年3月14日条例第23号）

この条例は、規則で定める日から施行する。

（平成3年3月31日規則第58号で別表第5の改正規定中熊本動物園に係る部分は平成3年4月1日から施行）

（平成3年4月6日規則第66号で別表第5の改正規定中清靖亭に係る部分は平成3年4月11日から施行）

附 則（平成4年3月31日条例第22号）

この条例は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成5年3月26日条例第15号）

この条例は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成5年9月24日条例第36号）

この条例は、規則で定める日から施行する。

（平成5年10月29日規則第71号で平成5年11月1日から施行。ただし、別表第5の改正規定中庄口地区運動施設に係る部分は、平成5年12月1日から施行）

附 則（平成6年9月30日条例第34号）

この条例は、平成6年10月18日から施行する。ただし、別表第5水前寺競技場の項の改正規定中電光掲示盤使用料に係る部分は、規則で定める日から施行する。

（平成7年3月31日規則第28号で平成7年4月1日から施行）

附 則（平成 7 年 3 月 16 日条例第 31 号）

この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、別表第 5 弓道場の項の改正規定は、公布の日から施行する。

（平成 7 年 4 月 27 日規則第 39 号で平成 7 年 5 月 1 日から施行）

附 則（平成 7 年 9 月 29 日条例第 61 号）

この条例は、平成 7 年 10 月 1 日から施行する。

附 則（平成 8 年 12 月 20 日条例第 36 号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 電気事業法（昭和 39 年法律第 170 号）第 2 条第 1 項第 8 号に規定する電気事業者、ガス事業法（昭和 29 年法律第 51 号）第 2 条第 2 項に規定する一般ガス事業者及び電気通信事業法（昭和 59 年法律第 86 号）第 12 条第 1 項に規定する第 1 種電気通信者（以下これらを「事業者」という。）が平成 9 年度以後の各年度においてこの条例の施行の日（以下「施行日」という。）前から継続して公園を占有している物件について、この条例による改正後の熊本市都市公園条例（以下「改正後の条例」という。）別表第 2 の規定により算定した使用料の額の事業者ごとの合計額が次の各号に掲げる年度の区分に従い当該各号に定める額に 1.1 を乗じて得た額（以下「調整後の合計額」という。）を超えることとなる間は、当該事業者が納入すべき当該物件に係る使用料の額は、調整後の合計額とする。

(1) 平成 9 年度 当該物件についてこの条例による改正前の熊本市都市公園条例（以下「改正前の条例」という。）別表第 2 の規定により算定した使用料の額の事業者ごとの合計額

(2) 平成 10 年度以後の各年度 当該年度の前年度においてこの項の規定の適用により納入すべきものとされた使用料の額の事業者ごとの合計額

- 3 事業者以外の者が平成 9 年度以後の各年度において施行日前から継続して公園を占有している物件について、改正後の条例別表第 2 の規定により算定した使用料の額が、次の各号に掲げる年度の区分に従い当該各号に定める額に 1.1 を乗じて得た額（以下「調整後の額」という。）を超えることとなる間は、その者が納入すべき当該物件に係る使用料の額は、調整後の額とする。

(1) 平成 9 年度 当該物件について改正前の条例別表第 2 の規定により算定した使用料の額

(2) 平成10年度以後の各年度 当該年度の前年度においてこの項の規定の適用により納入すべきものとされた使用料の額

4 競技会、集会、展示会、博覧会その他これらに類する催しのために設けられる仮設工作物で施行日以後において占用の許可を受けることとなるものに係る使用料の額は、改正後の条例別表第2の規定にかかわらず、次の各号に掲げる年度の区分に従い当該各号に定めるものとする。

(1) 平成9年度 1平方メートル1日につき47円として算定した額

(2) 平成10年度 1平方メートル1日につき58円として算定した額

5 第2項及び第3項の規定により算定された使用料の額に1円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。

附 則（平成9年3月28日条例第24号）

（施行期日）

1 この条例中、第1条の規定は平成9年4月1日から、第2条の規定は同年10月1日から施行する。

（経過措置）

2 第2条の規定による改正後の熊本市都市公園条例の規定は、平成9年10月1日以後の使用許可に係る使用料から適用し、同日前の使用許可に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成10年3月26日条例第20号）

この条例は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成10年9月29日条例第50号）

この条例は、平成10年11月1日から施行する。

附 則（平成11年12月24日条例第39号）抄

改正 平成12年3月30日条例第16号

（施行期日）

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定中砂原分区園に係る部分は公布の日から、田迎公園運動施設の武道場に係る部分は規則で定める日から施行する。

（平成12年4月28日規則第48号で平成12年5月12日から施行）

（経過措置）

2 第2条の規定（砂原分区園に係る部分及び田迎公園運動施設の武道場に係る部分を除

く。)による改正後の熊本市都市公園条例の規定は、平成12年4月1日以後の使用許可に係る使用から適用し、同日前の使用許可に係る使用については、なお従前の例による。

(平12条例16・旧第3項繰上)

附 則 (平成12年3月30日条例第2号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成12年3月30日条例第16号) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。ただし、第3項の規定は、公布の日から施行する。

附 則 (平成12年12月25日条例第56号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (平成14年9月24日条例第44号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成14年9月25日条例第45号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成15年3月17日条例第31号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成16年3月31日条例第35号)

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月24日条例第11号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、別表第5の改正規定並びに次項、附則第3項及び第5項の規定は、平成17年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例(前項ただし書に係る部分に限る。次項において同じ。)による改正後の別表第5の規定は、別表第5の改正規定の施行の日(次項において「施行日」という。)以後の使用許可に係る使用料から適用する。
- 3 施行日前に交付されたこの条例による改正前の別表第5に規定する北岡自然公園の弓道場に係る回数券は、施行日以後において同弓道場を使用する際の使用料の納付の一部として用いることができる。
- 4 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

(熊本市総合体育館・青年会館条例の一部改正)

- 5 熊本市総合体育館・青年会館条例（昭和61年条例第10号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則（平成17年9月30日条例第45号）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、別表第4備考4の改正規定は、平成17年10月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の日から平成18年9月1日（同日前に地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき水前寺野球場、水前寺競技場又は田迎公園運動施設の管理に係る指定をした場合には、それぞれの指定の日）までの間における当該有料公園施設の管理については、なお従前の例による。
- 3 この条例による改正後の第25条第2項の規定にかかわらず、この条例の施行の日から平成18年9月1日までの間において、田迎公園運動施設の指定管理者を指定する場合は、市長が別に定める基準に該当するものを選定し、議会の議決を経て指定するものとする。
- 4 前項の指定の期間は、3年を超えることができない。

附 則（平成19年3月13日条例第42号）

この条例は、規則で定める日から施行する。

（平成19年3月27日規則第20号で平成19年4月16日から施行）

附 則（平成19年10月31日条例第76号）

この条例は、平成19年11月1日から施行する。

附 則（平成20年9月19日条例第80号）抄

（施行期日）

- 第1条 この条例は、平成21年2月1日から施行する。

附 則（平成21年3月26日条例第20号）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月8日条例第40号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成22年3月23日から施行する。ただし、第19条の改正規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 鹿本郡植木町の編入の日（以下「植木町編入日」という。）前に旧植木町都市公園の設置及び管理に関する条例（昭和61年条例第9号。以下「旧植木町条例」という。）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例による改正後の熊本市都市公園条例の相当規定によりなされたものとみなす。
- 3 この条例の施行の際現に旧植木町条例の規定により許可を受けている者の当該許可に係る使用料については、なお従前の例による。
- 4 植木町編入日前にした旧植木町条例の規定に違反する行為に対する罰則の適用については、旧植木町条例の例による。

附 則（平成22年10月6日条例第121号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成23年3月5日から施行する。
- （経過措置）
- 2 この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

（熊本市営駐車場条例の一部改正）

- 3 熊本市営駐車場条例（昭和46年条例第57号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則（平成23年9月29日条例第46号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年3月22日条例第56号）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。
- （経過措置）
- 3 第2条の規定による改正後の熊本市都市公園条例第19条の規定は、施行日以後の許可に係る使用料について適用し、施行日前の許可に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成24年12月26日条例第113号）

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年10月4日条例第54号）

- 1 この条例は、平成25年10月6日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前に旧富合町都市公園規則（平成20年富合町合併特例区規則第5

号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例による改正後の熊本市都市公園条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則 (平成25年12月25日条例第78号)

この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成26年3月28日規則第42号で平成26年4月7日から施行)

附 則 (平成26年10月7日条例第68号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成26年12月26日条例第87号) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、別表武道場の項使用料の欄の改正規定並びに附則第3項及び附則第4項の規定は、平成27年3月23日から施行する。

附 則 (平成27年3月6日条例第33号)

- 1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この条例による改正後の熊本市都市公園条例別表第2の規定は、この条例の施行の日以後の占有の期間に係る使用料について適用し、同日の前日までの占有の期間に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則 (平成28年3月24日条例第27号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (平成29年12月12日条例第72号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成30年4月1日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例による改正後の熊本市都市公園条例(以下「新条例」という。)別表第2の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後の占有の期間に係る使用料について適用し、施行日の前日までの占有の期間に係る使用料については、なお従前の例による。
 - 3 平成30年度以後の各年度において施行日前から継続して公園を占有している物件について、新条例別表第2の規定により算定した使用料の額が、次の各号に掲げる年度の区分に従い当該各号に定める額に1.2を乗じて得た額(この項において「調整後の額」という。)を超える間における当該物件に係る使用料の額は、調整後の額とする。

(1) 平成30年度 当該物件についてこの条例による改正前の熊本市都市公園条例別表第

2の規定により算定した使用料の額

(2) 平成31年度以後の各年度 当該年度の前年度においてこの項の規定により算定した使用料の額

4 前項の規定によるそれぞれの使用料の額に1円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。

附 則（平成30年3月26日条例第38号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成30年6月19日条例第72号）

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

（令和元年8月2日規則第20号で令和元年8月31日から施行）

2 植木中央公園運動施設の指定管理者に係る指定の手続その他の準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

附 則（令和元年10月2日条例第29号）

1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

(1) 第11条の改正規定及び次項の規定 公布の日

(2) 前号に掲げる規定以外の規定 令和2年4月1日

2 この条例の公布の日以後においては、令和2年4月1日前においても、同日以後の都市公園の使用について、この条例による改正後の熊本市都市公園条例の規定により使用料を徴収するものとする。

附 則（令和2年12月18日条例第63号）

（施行期日）

1 この条例は、規則で定める日から施行する。

（令和3年4月23日規則第37号で令和3年4月26日から施行）

（熊本市旧細川刑部邸条例の一部改正）

2 熊本市旧細川刑部邸条例（平成5年条例第47号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則（令和3年6月25日条例第69号）

1 この条例は、令和4年7月1日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

2 辛島公園及び花畑公園の指定管理者に係る指定の手続その他の準備行為は、この条例の

施行の日前においても行うことができる。

附 則（令和４年９月３０日条例第４９号）抄
（施行期日）

１ この条例は、令和４年１０月１日から施行する。

附 則（令和４年１２月２０日条例第６２号）抄
（施行期日）

１ この条例は、令和５年４月１日から施行する。

別表第１（第１０条関係）

（昭５３条例１３・昭５９条例２２・平９条例２４・平１４条例４４・平３０条例７２・一部改正）

区分	単位	金額
公園施設を設置する場合	１平方メートル１年につき	４,０８０円
公園施設を管理する場合	１平方メートル１年につき	１０,３２０円

備考

- １ 使用料算定の基礎となる面積に１平方メートル未満の端数があるとき、又はその全面積が１平方メートル未満であるときは、その端数又はその全面積は、１平方メートルとして計算する。
- ２ 使用期間に１年未満の端数があるとき、又は全使用期間が１年未満のときは、月割をもって計算する。この場合において、１月未満の端数があるときは、これを１月として計算する。

別表第２（第１０条関係）

（平８条例３６・全改、平１４条例４４・平２７条例３３・平２９条例７２・平３０条例７２・一部改正）

占用物件の種類			使用料	
			単位	金額
電柱類	本柱	第１種	１本１年につき	９２０円
		第２種		１,４００円
		第３種		１,９００円
	支線、支柱その他これらに類するもの			９２０円

共架電線その他これらに類するもの	1メートル1年につき	8円
地下電線その他地下に設ける線類		5円
変圧塔、鉄塔その他これらに類するもの	1平方メートル1年につき	1,600円
水道管、下水道管、ガス管その他これらに類するもの	1メートル1年につき	490円
通路、鉄道、軌道、公共駐車場、防火用貯水槽その他これらに類する施設で地下に設けられるもの	1平方メートル1年につき	1,600円
郵便差出箱及び公衆電話所	1平方メートル1年につき	1,600円
競技会、集会、展示会、博覧会その他これらに類する催しのために設けられる仮設工作物	1平方メートル1日につき	77円
市長が指定する有料公園施設において競技会その他これに類する行事を行う場合に設ける広告物	1平方メートル1日につき	1,600円
標識	1本1年につき	1,300円
橋並びに道路、鉄道及び軌道で高架のもの	1平方メートル1年につき	1,600円
工事用板囲、足場、詰所その他の工事用施設及び土石、竹木、瓦その他の工事用材料置場	1平方メートル1月につき	770円
その他の占用物件	1平方メートル1月につき	770円

備考

- 電柱類のうち、第1種とは本柱（当該本柱に設置される変圧器を含む。以下同じ。）のうち3条以下の電線（当該本柱を設置する者が設置するものに限る。以下この項において同じ。）を支持するものを、第2種とは本柱のうち4条又は5条の電線を支持するものを、第3種とは本柱のうち6条以上の電線を支持するものをいう。
- 共架電線とは、本柱を設置する者以外の者が当該本柱に設置する電線をいう。
- 使用料の額が年額で定められている占用物件に係る占用の期間が1年未満であるとき、又は当該占用の期間に1年未満の端数があるときは、月割をもって計算する。この場合において、当該占用の期間に1月未満の端数があるときは、1月として計算する。
- 使用料の額が月額で定められている占用物件に係る占用の期間が1月未満であるとき、又は当該占用の期間に1月未満の端数があるときは、1月として計算する。

5 使用料算定の基礎となる面積若しくは長さが0.01平方メートル若しくは0.01メートル未満であるとき、又はその面積若しくは長さに0.01平方メートル若しくは0.01メートル未満の端数があるときは、その全面積若しくは全長又はその端数の面積若しくは長さを切り捨てて計算するものとする。

6 1件の使用料が100円に満たないものは、100円とする。

別表第3（第10条関係）

（昭53条例13・追加、昭59条例22・平9条例24・平14条例44・平19条例42・平30条例72・令元条例29・一部改正）

行為の種類	単位	金額
行商その他これに類するもの	1件1年につき	10,320円
業としての写真撮影	1台1年につき	10,320円
バーベキュー等火気を使用するもの	1区画1回につき	1,000円

備考

使用期間に1年未満の端数があるとき、又は全使用期間が1年未満のときは、月額をもって計算する。この場合において、1月未満の端数があるときは、これを1月として計算する。

別表第4（第6条、第10条関係）

（昭63条例40・全改、平9条例24・平12条例56・平16条例35・平17条例45・平30条例72・令2条例63・一部改正）

有料公園名	単位	入園料	
北岡自然公園 立田自然公園	1人1回につき	大人・高校生 200円 (30人以上の団体 160円)	中学生以下 100円 80円)
熊本城公園 (行幸坂以東の区域)	1人1回につき	大人・高校生 800円 (30人以上の団体 640円)	中学生以下 300円 240円)

備考

- 1 熊本城年間入園券は、1枚につき1,600円とする。
- 2 熊本城年間入園券の有効期間は、購入日から1年間とする。
- 3 熊本城年間入園券を利用することができる者は、高校生以上の者に限る。
- 4 同伴者のある学齢未満の幼児は、無料とする。

別表第5（第6条、第10条、第27条の2関係）

（平9条例24・全改、平10条例20・平10条例50・平11条例39・平15条例31・平17条例11・平22条例40・平22条例121・平25条例54・平25条例78・平26条例87・平30条例72・令元条例29・令3条例69・令4条例49・一部改正）

有料公園施設 名	同左施設所在都 市公園名	使用料
仰松軒 （茶室）	立田自然公園	午前8時30分から正午まで 1,700円 正午から午後5時まで 2,500円 備考 1 時間延長の場合は、1時間につき500円を徴収する。 2 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。
清靖亭 （茶室）	武蔵塚公園	午前8時30分から正午まで 2,900円 正午から午後5時まで 4,100円 備考 1 時間延長の場合は、1時間につき800円を徴収する。 2 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。
不言居 （茶室）	白川公園	午前8時30分から正午まで 2,900円 正午から午後5時まで 4,100円 備考 1 時間延長の場合は、1時間につき800円を徴収する。 2 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。
山雲軒 （茶室）	白川公園	午前8時30分から正午まで 2,500円 正午から午後5時まで 3,500円 備考 1 時間延長の場合は、1時間につき700円を徴収する。 2 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。
海月庵	白川公園	1 全部使用の場合

(茶室)		<p>午前8時30分から正午まで 6,500円</p> <p>正午から午後5時まで 9,100円</p> <p>備考</p> <p>1 時間延長の場合は、1時間につき1,900円を徴収する。</p> <p>2 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p> <p>2 一部使用の場合</p> <p>(1) 10畳の間</p> <p>午前8時30分から正午まで 2,500円</p> <p>正午から午後5時まで 3,500円</p> <p>備考</p> <p>1 時間延長の場合は、1時間につき700円を徴収する。</p> <p>2 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p> <p>(2) 8畳の間</p> <p>午前8時30分から正午まで 2,000円</p> <p>正午から午後5時まで 2,800円</p> <p>備考</p> <p>1 時間延長の場合は、1時間につき600円を徴収する。</p> <p>2 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p>								
坪井川緑地運動施設	坪井川緑地	<p>1 多目的運動広場（サッカー、ラグビー、陸上競技等のための施設）</p> <p>(1) 専用使用料</p> <table><tr><th>区分</th><th>使用料</th></tr><tr><td>全面</td><td>1時間につき 870円</td></tr><tr><td>球技エリア面</td><td>1時間につき 440円</td></tr><tr><td>陸上競技面</td><td>1時間につき 430円</td></tr></table>	区分	使用料	全面	1時間につき 870円	球技エリア面	1時間につき 440円	陸上競技面	1時間につき 430円
区分	使用料									
全面	1時間につき 870円									
球技エリア面	1時間につき 440円									
陸上競技面	1時間につき 430円									

備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

(2) 個人使用料

単位	高校生以下	一般
1人1回につき	70円	130円

2 野球場

区分	使用料
全面	1時間につき 620円
半面	1時間につき 310円

備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

3 テニスコート

単位	高校生以下	一般
1面1時間につき	380円	750円

備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

4 電灯使用料

区分	単位	使用料
多目的運動広場	1時間につき	1,860円
野球場	1時間につき	1,370円

		<table><tr><td>ソフトボール場(A)</td><td>1時間につき</td><td>1,370円</td></tr><tr><td>ソフトボール場(B)</td><td>1時間につき</td><td>1,120円</td></tr><tr><td>テニスコート</td><td>1面1時間につき</td><td>1,120円</td></tr></table> <p>備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p> <p>5 放送設備使用料 1時間につき 140円</p> <p>備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p>	ソフトボール場(A)	1時間につき	1,370円	ソフトボール場(B)	1時間につき	1,120円	テニスコート	1面1時間につき	1,120円	
ソフトボール場(A)	1時間につき	1,370円										
ソフトボール場(B)	1時間につき	1,120円										
テニスコート	1面1時間につき	1,120円										
庄口地区運動施設	水前寺江津湖公園	<p>1 運動広場使用料</p> <table><tr><th>区分</th><th>使用料</th></tr><tr><td>1面</td><td>1時間につき 310円</td></tr></table> <p>備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p> <p>2 テニスコート</p> <table><tr><th>単位</th><th>高校生以下</th><th>一般</th></tr><tr><td>1面1時間につき</td><td>220円</td><td>440円</td></tr></table> <p>備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p>	区分	使用料	1面	1時間につき 310円	単位	高校生以下	一般	1面1時間につき	220円	440円
区分	使用料											
1面	1時間につき 310円											
単位	高校生以下	一般										
1面1時間につき	220円	440円										
弓道場	北岡自然公園	<p>1 専用使用料</p> <table><tr><th>区分</th><td>午前8時 30分から</td><td>正午から 午後4時</td><td>午後4時30 分から午</td><td>午前8時30 分から午後7</td></tr></table>	区分	午前8時 30分から	正午から 午後4時	午後4時30 分から午	午前8時30 分から午後7					
区分	午前8時 30分から	正午から 午後4時	午後4時30 分から午	午前8時30 分から午後7								

			正午まで	30分まで	後7時まで	時まで
使用料			4,340円	5,580円	3,100円	13,020円

備考

1

時間延長の場合は、1時間につき、各時間区分の1時間相当額を徴収する。

2

使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

2 個人使用料

区分		単位	使用料
個人使用券	高校生	1人1回につき	130円
	以下		
	一般	1人1回につき	250円
回数券	高校生	11枚つづり1冊につ	1,300円
	以下	き	
	一般	11枚つづり1冊につ	2,500円
		き	

備考

1

「高校生以下」とは、高等専門学校の学生、高等学校及び中学校の生徒、小学校の児童並びにこれらに準ずる者をいう。

2

「一般」とは、一般人並びに大学の学生及びこれに準ずる者をいう。

3

個人使用券及び回数券は、総合体育館、南部総合スポーツセンター及び城南総合スポーツセンターの弓道場並びに植木弓道場を個人で使用する際の使用料の納付に用いることができる。

野球場	清水新地公園	1	施設使用料
-----	--------	---	-------

運動場	北部公園				
	今熊公園				
	飽田公園				
	植木総合スポーツセンター公園				
	吉松スポーツ公園				
	田原スポーツ公園				
	雁回公園				
	城山公園				

		<table><tr><td>田原スポーツ公園</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>城山公園</td><td>1時間につき</td><td></td><td>2,240円</td></tr><tr><td>北部公園</td><td>1時間につき</td><td></td><td>1,120円</td></tr><tr><td>今熊公園</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p>	田原スポーツ公園				城山公園	1時間につき		2,240円	北部公園	1時間につき		1,120円	今熊公園				
田原スポーツ公園																			
城山公園	1時間につき		2,240円																
北部公園	1時間につき		1,120円																
今熊公園																			
水前寺野球場	水前寺運動公園	<p>1 施設使用料</p> <p>(1) 使用者が入場料等を徴収しない場合</p> <table><tr><td>使用料</td></tr><tr><td>1時間につき 1,000円</td></tr></table> <p>備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p> <p>(2) 使用者が入場料等を徴収する場合</p> <p>最高入場料（税込）の100人分に相当する額を加算する。</p> <p>2 附属設備使用料</p> <table><tr><td>区分</td><td>単位</td><td>使用料</td></tr><tr><td>夜間照明施設</td><td>1時間につき</td><td>1,990円</td></tr><tr><td>スコアボード</td><td>1時間につき</td><td>150円</td></tr><tr><td>放送設備</td><td>1時間につき</td><td>150円</td></tr><tr><td>冷暖房設備</td><td>1室1時間につき</td><td>100円</td></tr></table> <p>備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p>	使用料	1時間につき 1,000円	区分	単位	使用料	夜間照明施設	1時間につき	1,990円	スコアボード	1時間につき	150円	放送設備	1時間につき	150円	冷暖房設備	1室1時間につき	100円
使用料																			
1時間につき 1,000円																			
区分	単位	使用料																	
夜間照明施設	1時間につき	1,990円																	
スコアボード	1時間につき	150円																	
放送設備	1時間につき	150円																	
冷暖房設備	1室1時間につき	100円																	
水前寺競技場	水前寺運動公園	<p>1 専用使用料</p>																	

(1) 使用者が入場料等を徴収しない場合

区分	アマチュアスポーツ	アマチュアスポーツ以外
午前6時から午前8時まで	3,720円	11,160円
午前8時から正午まで	7,440円	22,320円
正午から午後6時まで	11,160円	33,480円
午後6時から午後10時まで	7,440円	22,320円
全日	29,760円	89,280円

備考

- 1 時間延長の場合は、1時間につき、各時間区分の1時間相当額を徴収する。
- 2 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

(2) 使用者が入場料等を徴収する場合

ア アマチュアスポーツで使用する場合

最高入場料（税込）の100人分に相当する額を加算する。

イ アマチュアスポーツ以外で使用する場合

最高入場料（税込）の200人分に相当する額を加算する。

(3) 附属設備使用料

区分	単位	使用料
夜間照明施設	全部の点灯1時間につき	3,720円

				2分の1点灯1時間につき	1,860円																			
			電光掲示盤	1時間につき	3,000円																			
			放送設備	1時間につき	150円																			
			冷暖房設備	会議室1時間につき	200円																			
				その他1室1時間につき	100円																			
			備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。																					
			2 個人使用料																					
			<table><tr><th colspan="2">区分</th><th>単位</th><th>使用料</th></tr><tr><td rowspan="2">個人使用券</td><td>高校生以下</td><td>1人1回につき</td><td>70円</td></tr><tr><td>一般</td><td>1人1回につき</td><td>130円</td></tr><tr><td rowspan="2">回数券</td><td>高校生以下</td><td>11枚つづり1冊につき</td><td>700円</td></tr><tr><td>一般</td><td>11枚つづり1冊につき</td><td>1,300円</td></tr></table>				区分		単位	使用料	個人使用券	高校生以下	1人1回につき	70円	一般	1人1回につき	130円	回数券	高校生以下	11枚つづり1冊につき	700円	一般	11枚つづり1冊につき	1,300円
			区分		単位	使用料																		
			個人使用券	高校生以下	1人1回につき	70円																		
一般	1人1回につき	130円																						
回数券	高校生以下	11枚つづり1冊につき	700円																					
	一般	11枚つづり1冊につき	1,300円																					
備考																								
1 「高校生以下」とは、高等専門学校の学生、高等学校及び中学校の生徒、小学校の児童並びにこれらに準ずる者並びに満3歳から小学校就学の始期に達するまでの者をいう。																								
2 「一般」とは、一般人並びに大学の学生及びこれに準ずる者をいう。																								
テニスコート	新屋敷公園 熊本城公園	1	施設使用料																					

北部公園 植木総合スポーツセンター公園		<table><tr><th>区分</th><th>単位</th><th>使用料</th></tr><tr><td>高校生以下</td><td>1面1時間につき</td><td>220円</td></tr><tr><td>一般</td><td>1面1時間につき</td><td>440円</td></tr></table>	区分	単位	使用料	高校生以下	1面1時間につき	220円	一般	1面1時間につき	440円									
	区分	単位	使用料																	
高校生以下	1面1時間につき	220円																		
一般	1面1時間につき	440円																		
		<p>備考</p> <p>1 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p> <p>2 「高校生以下」とは、高等専門学校の学生、高等学校及び中学校の生徒、小学校の児童並びにこれらに準ずる者並びに満3歳から小学校就学の始期に達するまでの者をいう。</p> <p>3 「一般」とは、一般人並びに大学の学生及びこれに準ずる者をいう。</p> <p>2 照明使用料</p> <table><tr><th>単位</th><th>使用料</th></tr><tr><td>1面1時間につき</td><td>440円</td></tr></table> <p>備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p>	単位	使用料	1面1時間につき	440円														
単位	使用料																			
1面1時間につき	440円																			
テニスコート・フットサルコート	城山公園	<p>1 施設使用料</p> <table><tr><th colspan="2">区分</th><th>単位</th><th>使用料</th></tr><tr><td rowspan="2">テニス</td><td>高校生以下</td><td>1面1時間につき</td><td>380円</td></tr><tr><td>一般</td><td>1面1時間につき</td><td>750円</td></tr><tr><td rowspan="2">フットサル</td><td>高校生以下</td><td>1面1時間につき</td><td>750円</td></tr><tr><td>一般</td><td>1面1時間につき</td><td>1,500円</td></tr></table>	区分		単位	使用料	テニス	高校生以下	1面1時間につき	380円	一般	1面1時間につき	750円	フットサル	高校生以下	1面1時間につき	750円	一般	1面1時間につき	1,500円
区分		単位	使用料																	
テニス	高校生以下	1面1時間につき	380円																	
	一般	1面1時間につき	750円																	
フットサル	高校生以下	1面1時間につき	750円																	
	一般	1面1時間につき	1,500円																	

		<div>備考</div> <div><div>1 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</div><div>2 「高校生以下」とは、高等専門学校の学生、高等学校及び中学校の生徒、小学校の児童並びにこれらに準ずる者並びに満3歳から小学校就学の始期に達するまでの者をいう。</div><div>3 「一般」とは、一般人並びに大学の学生及びこれに準ずる者をいう。</div></div> <div>2 照明使用料</div> <table><tr><th>区分</th><th>単位</th><th>使用料</th></tr><tr><td>テニス</td><td>1面1時間につき</td><td>440円</td></tr><tr><td>フットサル</td><td>1面1時間につき</td><td>870円</td></tr></table> <div>備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</div>	区分	単位	使用料	テニス	1面1時間につき	440円	フットサル	1面1時間につき	870円																													
区分	単位	使用料																																						
テニス	1面1時間につき	440円																																						
フットサル	1面1時間につき	870円																																						
田迎公園運動施設	田迎公園	<div>1 専用使用料</div> <div>(1) 施設使用料</div> <table><tr><th rowspan="3">区分</th><th colspan="4">使用料</th></tr><tr><th>午前</th><th>午後</th><th>夜間</th><th>全日</th></tr><tr><td>午前9時から正午まで</td><td>午後1時から午後5時まで</td><td>午後6時から午後10時まで</td><td>午前9時から午後10時まで</td></tr><tr><td>中体育室</td><td>5,220円</td><td>6,960円</td><td>6,960円</td><td>22,620円</td></tr><tr><td>小体育室</td><td>1,140円</td><td>1,520円</td><td>1,520円</td><td>4,940円</td></tr><tr><td>室内</td><td>7月から9月まで</td><td>9,300円</td><td>12,400円</td><td>12,400円</td></tr><tr><td>温</td><td>10月か</td><td>11,550円</td><td>15,400円</td><td>15,400円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>50,050円</td></tr></table>	区分	使用料				午前	午後	夜間	全日	午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで	中体育室	5,220円	6,960円	6,960円	22,620円	小体育室	1,140円	1,520円	1,520円	4,940円	室内	7月から9月まで	9,300円	12,400円	12,400円	温	10月か	11,550円	15,400円	15,400円					50,050円
区分	使用料																																							
	午前	午後		夜間	全日																																			
	午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで																																				
中体育室	5,220円	6,960円	6,960円	22,620円																																				
小体育室	1,140円	1,520円	1,520円	4,940円																																				
室内	7月から9月まで	9,300円	12,400円	12,400円																																				
温	10月か	11,550円	15,400円	15,400円																																				
				50,050円																																				

水 プ ー ル	ら翌年6				
	月まで				

備考

1 使用時間の延長又は繰上げに係る使用料の額は、1時間につき、各時間区分の1時間相当額とする。各時間区分を連続して使用する場合は、各時間区分間に係る使用料の額についても同様とする。

2 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

区分		使用料
運動広場	全面	1時間につき 620円
	半面	1時間につき 310円

備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

区分	使用料			
	午前	午後	夜間	全日
	午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで
武道場	1,140円	1,520円	1,520円	4,940円

備考

1 使用時間の延長又は繰上げに係る使用料の額は、1時間につき、各時間区分の1時間相当額とする。各時

間とみなす。

区分		使用料
運動広場	全面	1時間につき 620円
	半面	1時間につき 310円

備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

区分	使用料			
	午前	午後	夜間	全日
	午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで
武道場	1,140円	1,520円	1,520円	4,940円

備考

1 使用時間の延長又は繰上げに係る使用料の額は、1時間につき、各時間区分の1時間相当額とする。各時

間区分を連続して使用する場合は各時間区分間に係る使用料の額についても同様とする。

- 2 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

(2) 照明使用料

区分		使用料
中体育室	全部の点灯	1時間につき 870円
	2分の1の点灯	1時間につき 440円
小体育室	全部の点灯	1時間につき 250円
室内温水プール	全部の点灯	1時間につき 620円
ゲートボールコート	全部の点灯	1時間につき 250円
	1面の点灯	1時間につき 70円
運動広場	全面の点灯	1時間につき 2,240円
	半面の点灯	1時間につき 1,120円
武道場	全部の点灯	1時間につき 130円

備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

2 一部使用料

区分			使用料
中体育室	バスケットボール	高校生	1面1時間につき 790円
		以下	
		一般	1面1時間につき 1,570円
	バレーボール	高校生	1面1時間につき 570円
		以下	

			一般	1面1時間につき	1,140円
		バドミントン	高校生以下	1面1時間につき	290円
			一般	1面1時間につき	570円
		卓球	高校生以下	1台1時間につき	140円
			一般	1台1時間につき	280円
		その他のスポーツ	バドミントンに係る使用料に準じて定める額		
	小体育室	卓球	高校生以下	1台1時間につき	140円
			一般	1台1時間につき	280円
		その他のスポーツ	卓球に係る使用料に準じて定める額		
	室内温水プール	7月から9月まで	個人使用券	高校生以下	1人2時間につき 170円
			回数券	高校生以下	11枚つづり1冊につき 1,700円
				一般	11枚つづり1冊につき 3,300円
		10月から翌年6月まで	個人使用券	高校生以下	1人2時間につき 230円
				一般	1人2時間につき 450円
			回数	高校生	11枚つづり1冊につき

		数	以下	2,300円
		券	一般	11枚つづり1冊につき 4,500円
テニスコート		高校生	1面1時間につき	380円
		以下		
		一般	1面1時間につき	750円
		照明設 備	1面1時間につき	440円
武道場	個人使用 券	高校生	1人1回につき	130円
		以下		
	回数券	高校生	11枚つづり1冊につき	
		以下	1,300円	
		一般	11枚つづり1冊につき	2,500円
コインロッカー				1箱1回につき 50円

備考

1

室内温水プールの使用時間が2時間を超える場合の
使用料の額は、区分に応じて定める使用料の額に、1
時間につき、当該区分に応じて定める使用料の2分の1
に相当する額を加算した額とする。

2

使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時
間とみなす。

3

「高校生以下」とは、高等専門学校の学生、高等学
校及び中学校の生徒、小学校の児童並びにこれらに準
ずる者並びに満3歳から小学校就学の始期に達するま
での者をいう。

4

「一般」とは、一般人並びに大学の学生及びこれに
準ずる者をいう。

5

室内温水プールの個人使用券及び回数券は、南部総

		<p>合スポーツセンター、総合体育館及び五福小学校のプールを個人で使用する際の使用料の納付に用いることができる。</p> <p>6 武道場の個人使用券及び回数券は、南部総合スポーツセンター、総合体育館、武蔵塚武道場、北部武道館、川尻武道館及び植木総合スポーツセンターの武道場を個人で使用する際の使用料の納付に用いることができる。</p>												
桜の馬場観光交流施設	熊本城公園	<p>1 歴史文化体験施設</p> <table><tr><th>単位</th><th>使用料</th></tr><tr><td>1人1回につき</td><td>300円</td></tr></table> <p>2 多目的交流施設</p> <table><tr><th>使用時間区分</th><th>使用料</th></tr><tr><td>午前9時から正午まで</td><td>7,900円</td></tr><tr><td>午後1時から午後5時まで</td><td>10,500円</td></tr><tr><td>午後6時から午後10時まで</td><td>12,900円</td></tr></table> <p>備考 使用時間区分間の使用時間の延長又は繰上げは、供用時間内で1時間以内に限りできるものとし、延長した時間の使用料については直前の使用時間区分、繰り上げた時間の使用料については直後の使用時間区分の使用料の3割とする。ただし、使用時間区分が2以上にわたる場合の当該区分間の時間の使用料については、この限りでない。</p>	単位	使用料	1人1回につき	300円	使用時間区分	使用料	午前9時から正午まで	7,900円	午後1時から午後5時まで	10,500円	午後6時から午後10時まで	12,900円
単位	使用料													
1人1回につき	300円													
使用時間区分	使用料													
午前9時から正午まで	7,900円													
午後1時から午後5時まで	10,500円													
午後6時から午後10時まで	12,900円													
植木中央公園運動施設	植木中央公園	<p>1 専用使用料</p> <p>(1) 施設使用料</p>												

		区分	使用料			
			午前	午後	夜間	全日
			午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで
			体育室	5,220円	6,960円	6,960円
		多目的室	区画しない場合	4,500円	6,000円	6,000円
3分の1に区画する場合 1区画につき	1,500円		2,000円	2,000円	6,500円	

備考

1 使用時間の延長又は繰上げに係る使用料の額は、1時間につき、各時間区分の1時間相当額とする。各時間区分を連続して使用する場合の各時間区分間に係る使用料の額についても同様とする。

2 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

3 多目的室を3分の1に区画する場合の使用は、会議等の用途に限る。

区分	使用料
運動広場	1時間につき 620円

備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

(2) 照明使用料

区分	使用料
----	-----

体育室	全部の点灯	1時間につき	870円
	2分の1の点灯	1時間につき	440円

備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。

2 一部使用料

区分			使用料
体育室	バスケットボール	高校生以下	1面1時間につき 790円
		一般	1面1時間につき 1,570円
	バレーボール	高校生以下	1面1時間につき 570円
		一般	1面1時間につき 1,140円
	バドミントン	高校生以下	1面1時間につき 290円
		一般	1面1時間につき 570円
	卓球	高校生以下	1台1時間につき 140円

				下									
				一般	1台1時間につき 280円								
				その他のスポーツ	バドミントンに係る使用料に準じて定める額								
			テニスコート	高校生以下	1面1時間につき 360円								
				一般	1面1時間につき 750円								
				照明設備	1面1時間につき 440円								
			コインロッカー		1箱1回につき 50円								
			備考										
			1 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。										
			2 「高校生以下」とは、高等専門学校の学生、高等学校及び中学校の生徒、小学校の児童並びにこれらに準ずる者並びに満3歳から小学校就学の始期に達するまでの者をいう。										
3 「一般」とは、一般人並びに大学の学生及びこれに準ずる者をいう。													
辛島公園 芝生広場	辛島公園	<table><tr><td>区分</td><td>単位</td><td>使用料</td></tr><tr><td>全面</td><td>1時間につき</td><td>3,700円</td></tr><tr><td>半面</td><td>1時間につき</td><td>1,800円</td></tr></table> 備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1			区分	単位	使用料	全面	1時間につき	3,700円	半面	1時間につき	1,800円
区分	単位	使用料											
全面	1時間につき	3,700円											
半面	1時間につき	1,800円											

		時間とみなす。									
辛島公園 多目的広場	辛島公園	<table><tr><th>区分</th><th>単位</th><th>使用料</th></tr><tr><td>全面</td><td>1時間につき</td><td>2,500円</td></tr><tr><td>半面</td><td>1時間につき</td><td>1,200円</td></tr></table> <p>備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p>	区分	単位	使用料	全面	1時間につき	2,500円	半面	1時間につき	1,200円
区分	単位	使用料									
全面	1時間につき	2,500円									
半面	1時間につき	1,200円									
花畑公園 北側階段	花畑公園	<table><tr><th>単位</th><th>使用料</th></tr><tr><td>1時間につき</td><td>380円</td></tr></table> <p>備考 使用時間に1時間に満たない端数がある場合は、1時間とみなす。</p>	単位	使用料	1時間につき	380円					
単位	使用料										
1時間につき	380円										